

見明戸八幡神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

本神社の鎮座地一帯は建部郷（現在の湯原町、川上村、八束村、美甘村それぞれの一部）と称し日本武尊の名代として栄えた建部、佐伯部が住居していた。

佐伯の名は全国にみられるが、安芸の佐伯部は厳島神社を創建し神主となって平家と親しくし、源平合戦に平家滅亡して神主も追われ、棚守に降された。

建部郷の人々は佐伯部社（この郷の一宮）をもうけ深い信仰のもとに生活の基になしていたが、美作国にも源氏が進駐したので、神主は佐伯部社のご神体を菰で包み岩穴にかくして八幡様が氏神であると申し立て難をのがれた。以来八幡神社と称しているが、建部郷の祖神に変わりなく人々はみあけどの八幡様と称え慕っている。幣死除け（特に安産祈禱・六三祈禱）は佐伯家の秘伝とされている。平成17年に社名変更、現在に至る。



前の写真へ次

基本情報

神社コード	14060
神社名	見明戸八幡神社（ミアケドハチマンジンジャ）
通称名	
旧社格	郷社
鎮座地	〒717-0411 真庭市見明戸343
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有 6台
御祭神	息長帯姫命, 譽田別命, 武内宿禰命
御神徳	安産, 斃死除け
主な祭典	1月1日：歳旦祭 4月22日：祈年祭 10月22日：秋季大祭
宮司宅電話	086-287-5632
URL	
e-mail	miakedo80000@eos.ocn.ne.jp
特記事項	弧巻き替え神事 秘伝の斃死除（安産・六三除け）

交通アクセス

J R 姫新線勝山駅から北へ 2 0 km 米子自動車道湯原 I C から北へ 8 km

米子自動車道蒜山 I C から南へ 8 km

[検索画面に戻る](#)

